

平成24年度 「いしかわ女性のチャレンジ賞」 被表彰者

《個人 5件》

氏名(所属)	市町	活動内容
安藤 喜代子 (湯涌かぶら利用拡大協議会 会長)	金沢市	古い文献から「湯涌かぶら」を知り再現に取組み、18年に県や地元農家の協力を得て復活。また、地元の漬物会社との協力により古漬として商品開発し通年販売につなげるなど、生産拡大に寄与している。スイーツや旅館の料理として提供できるようにと、自ら率先して「湯涌かぶら」の利用拡大を図るとともに、湯涌の特産品として知名度を上げるための活動を続けており、地域の活性化につながるものである。
乙川 味巧 (管理栄養士)	金沢市	災害でライフラインが止まったときでも美味しい食事ができるようにとの思いから、簡単に調理できる「震災食」を考案し、普及活動に努めている。洗い物が少なく日常でも使えるレシピはエコにもつながり、安全安心な地元の食材を取り入れたメニューは地産地消にも貢献している。また、「震災食」を通して日頃からの防災意識の高まりにも期待できる。
川上 由枝 (特定非営利活動法人おやこの 広場あさがお理事兼事務局長)	白山市	早くから育児サポーターのリーダーとして活躍。子育て支援施設「あさがお」の設立にあたり責任者として、様々な子育てサポートメニューを考え実践。「地域で育てる」活動や広場をコミュニティーの場として解放するなど積極的に活動しており、地域づくりにも繋がるものである。新たに父親向けのグループを立ち上げたり、妊婦さん向けの講座を企画するなど、日々子育ての環境づくりに取り組んでいる。
永栄 康子 (北陸女子会会長、朝活@ 金沢主宰)	金沢市	女性たちのための異業種交流会「北陸女子会」を設立。自己啓発、グルメ、育児など幅広い分野でのセミナーやイベントをボランティアで開催。その後、出勤前の時間を使った「朝活@金沢」も立ち上げ、若者を中心に様々な年代、業種の人たちの交流の場を提供している。さらに、金沢以外でも開催し、若者が集う場所として各地域の活性化にも繋がる活動である。
藤田 順子 (パン工房たけのはし店主)	津幡町	お米の活用方法として米粉パンを考案し製造販売。アレルギー対応や食品添加物不使用、甘さ控えめなど購入者のニーズに合わせたものや地域の特産品を使用するなど、様々な種類のパンを製造。米・麦の加工品づくりや米粉の魅力を伝える講演、また、地元の女性組織と新名物づくりに取り組むなど農業や地域の活性化にも貢献している。

《団体・グループ 1件》

団体名(代表者)	市町	活動内容
石川県林業研究グループ 森の幸 (代表 谷口 藤子)	穴水町	能登の山菜など地元の林産物を利用し、食の安全・安心に配慮した加工品づくりに取り組んでいる。素材を活かした加工法で人気商品を作りだし、県内や東京でのイベントに参加し、消費拡大に努めている。能登の林産物加工品を通して、自然豊かな能登半島の魅力を発信しており、知名度アップにも貢献。高校生など未来を担う若者と植樹や下草刈りをするなど、里山の保全活動にも力を入れている。